

平成 30 年 9 月 3 日

由仁町議会
議長 熊 林 和 男 様

産業厚生常任委員会
委員長 佐 藤 英 司

産業厚生常任委員会道内行政視察報告書

本委員会は、道内行政視察を次のとおり終了したので、由仁町議会会議規則第 77 条の規定により報告します。

記

- 1 視察事項
・認定こども園の運営について
- 2 期 日
平成 30 年 7 月 30 日（月）
- 3 視察地
日高管内浦河町
- 4 派遣議員
佐藤 英司・羽賀 直文・大竹 登・吉田 弘幸
- 5 随行職員
議会事務局長、事務担当主査
- 6 視察内容
別紙のとおり（報告書文責 副委員長 羽賀 直文）

【認定こども園の運営について】（7月30日）

* 浦河町の概要

浦河町は北海道の南部、日高振興局管内のやや東部に位置し、振興局の所在地である。東は様似町、西は新ひだか町に隣接し、背後は日高山脈、前面は太平洋に面していて、面積694.26haのうち81%が森林である。

人口は、12,475人（平成30年7月現在）主な産業は、豊富な水産資源の漁業、なかでも良質なダシ昆布「日高昆布」や、サケ・マス、夏から秋にかけてのスルメイカは特産。

また、軽種馬の生産・育成も盛んで、町内に約200の牧場があり、3,000頭以上のサラブレッドが駆け回っている。

歴史は古く、江戸時代に松前藩が幕府に献上した「元禄御国絵図」には、既に「浦川」として記載されており、松前藩によって浦川場所（会所）が設けられ、主として漁業による交易が行なわれていた。

* 認定こども園設立の経緯

浦河町内では保育所6か所（町立4か所、私立2か所）において、少子化に伴う児童数減少による入所定員割れや、施設の老朽化が進んでいたことから、平成19年度に行財政改革及び民業圧迫回避を目的とした、町立保育所民営化を視野に入れた浦河町保育所運営計画の策定議論が始まる。

平成21度から「北海道安心こども基金」を活用して、同じく老朽化が進んでいた町内幼稚園に保育機能を持たせた、「幼保連携型の認定こども園」の開設に向けた本格的な議論が始まり、最初に堺町保育所を民営化することが決定し、町内法人によるプロポーザル選考によって、学校法人前田学園（夢の国幼稚園）が事業者として選ばれた。

表 1 設立までの動き

	主な内容	議会における動き	その他
H19年度	町立保育所の民間委託を視野に入れた保育運営計画の議論がスタート	・厚生文教常任委員会 (1回開催) ※計画見直し指示	職員労働組合協議
H21年度	安心こども基金を活用した『認定こども園』の設置に向けた具体的な議論が始まる	・厚生文教常任委員会 (4回開催) ※継続審議	「安心こども基金」実施計画書を道に提出
H22年度	議会での計画承認を受け、事業着手に向けた取組が本格的にスタート H22.6 プロボールにより事業者決定 (応募法人2社) H22.11 建設工事着工 H23.3 建設工事竣工	・厚生文教常任委員会 (6回開催) ※事業計画について承認 ・9月定例会 ※補正予算承認	・保護者説明会 (4回) ・職員説明会 (2回) ・地域説明会 (3回) ・労働組合協議 (1回)
H23年度	認定こども園 夢の国幼稚園、保育園 OPEN (H23.4.1)		堺町保育所廃止 (H24年3月末)

(資料：浦河町)

表 2 補助金活用状況

「設立に要した費用等」

① (補助金活用状況) 平成 22 年度子育て支援対策事業 (北海道安心こども基金事業) 単位：円

	総事業費	国 (1/2)	道	町 (1/4)	事業者 (1/4)
認定こども園整備事業	155,412,796	77,706,000		38,853,000	38,853,796
保育所緊急整備事業	110,735,354	55,367,000		27,683,000	27,685,354
計	266,148,150	133,073,000		66,536,000	66,539,150

② (総事業費の内訳)

単位：円

建築・解体工事	建築工事管理業務費	設計業務費	保育所開設準備費	計
254,642,850	2,992,500	6,982,500	1,530,300	266,148,150

(資料：浦河町)

表3 子育て支援事業の実施状況

(子育て支援事業の実施状況) ※ 夢の国幼稚園・保育園 H29 実績

事業目	補助金額	対象者数
① 延長保育事業	300,000 円	248 人/延べ
② 一時預かり事業	一般型	3,461 人/延べ
	幼稚園型	1,999 人/延べ
③ 地域子育て支援拠点事業	3,700,000 円	565 人/延べ
④ 実費徴収に係る補足給付	20,200 円	1 人
⑤ 放課後児童健全育成事業	3,160,000 円	1,037 人/延べ
計	12,299,000 円	

(資料：浦河町)

表4 認定こども園での過ごし方

☆認定こども園での過ごし方（基本的な考え方）

～子どもたちは、認定こども園でこのような1日を過ごします～

認定こども園では、幼稚園教員免許や保育士資格を持った職員が、子どもの教育・保育を行います。3歳児以上の子どもは学級に入り、担任による4時間の教育があります。保育時間は短時間（4時間程度）と長時間（8時間程度）があります。

	7:00	8:30	9:30	10:00	11:15	12:30	2:30	3:00	4:00	4:30	6:30	7:30
0・1・2歳児	順次登園		おやつ・遊び		昼食	午睡		おやつ・遊び		順次降園・延長保育		降園完了
長時間コース(保育園)	順次登園		自由遊び	一斉保育		自由遊び		午睡	自由遊び・おやつ		延長保育	
短時間コース(幼稚園)	早期保育	登園・自由遊び		一斉保育		自由遊び		降園	預かり保育		延長保育	

(資料：夢の国幼稚園・保育園)

*** 視察を終えて**

今回視察させていただいた浦河町の認定こども園は、既存の施設の老朽化、町の行財政改革、道の基金の活用、経験のある民間事業者の存在等、新しい施設の開設への条件が整って、道内でも比較的早い時期に開園した認定こども園である。当町の既存施設の利用方針とは違い、新規に建てられた園舎は各部屋のスペースもゆったりとして、トイレ等も園児目線で作られており、乳児室には沐浴室や調乳室が併設されている。当然のことながらトイレや厨房は衛生面で最善の配慮がなされている。素人目にはまさに理想的な環境と感じました。

職員数も100人以上の園児を擁するだけに、正職員・臨時職員・嘱託で28人もおり、送迎も基本的に園のバスということで雇用はあるが、人件費もそれ相応にかかっていると感じました。

平成32年度開園を目指す当町の認定こども園においても職員の確保、勤務環境への配慮、そして何よりも園児、保護者にとってよりよい保育・教育環境が担保されるよう私ども議会も尽力してまいります。

今回、視察にあたり公務多忙の中、説明いただいた町職員の皆様、懇切丁寧に施設の説明をいただいた大澤園長に感謝申し上げます。

以上、産業厚生常任委員会道内行政視察報告といたします。

(報告書文責 副委員長 羽賀直文)